

### ～下地幹郎衆議院議員が奥武山野球場ドーム化を要請～

# 市は反対! 奥武山野球場ドーム化

10月28日(水)、翁長市長は下地幹郎衆議院議員から沖縄県の経済活性化を主とした奥武山野球場ドーム化の要請を受けました。

この要請を受け、市は野球場のドーム化ではなく、市民からの要望が多く、野球場とともに経済効果も期待できる奥武山陸上競技場・公式サッカー場建設計画に力を注いで頂けるよう理解と協力を求めました。

#### 【要請概要】

現在建設中の奥武山野球場は、内野スタンド部分のみに屋根をつけているが、さらにその屋根の上に球場ほぼ全面を覆う屋根を約70億円の工事費をかけて、二重に設置することで全天候型のドームにしたい。

ドーム化に伴い、人工芝のグラウンドへ改修し、雨天でも3万人収容できる会場とする。イベント開催(年40回)による経済効果が得られる。(野球場利用日200日、市民利用日200日、市民利用)

#### 【市の考え(懸念事項)】

新設が税金の無駄使い削減を掲げる中で、完成間近の野球場に、さらに球場建設費を上回る費用をかけて二重の屋根をつけることは、税金の使い道として市民から理解が得られない。市としては、野球少年、サッカー少年それぞれが夢の本拠地が持てるよう、野球場建設の後は、国立競技場の沖縄版として奥武山陸上競技場・公式サッカー場建設を計画している。実現すればJリーグのキャンプ誘致を目指すなど沖縄県の更なる経済活性化が期待できるため、10月5日付けで陸上競技場・サッカー場建設を民主党県連(喜納昌吉代表)に要請したところである。

また、読売巨人軍のキャンプ誘致は、天然芝が必須条件となっており、人工芝へ改修した場合、キャンプの実施が白紙に戻ることもあり、楽しみにしている市民・県民のみならず、まの期待を大きく裏切ることになる。さらにドーム化した場合の維持管理費については、



来年3月完成予定の奥武山野球場。要請によれば、この大屋根の上から更に屋根を被せることになる。

計画当初実施したドーム化の調査によると、年間5億円余と試算されており、現在の市の財政状況では到底捻出することはできない。その他、要請書によれば市民が利用できる日が少なくなることや、市民の球場使用料が2倍以上あがることとなり市民球場として相応しい使用形態が取れなくなる懸念される。

計画当初実施したドーム化の調査によると、年間5億円余と試算されており、現在の市の財政状況では到底捻出することはできない。その他、要請書によれば市民が利用できる日が少なくなることや、市民の球場使用料が2倍以上あがることとなり市民球場として相応しい使用形態が取れなくなる懸念される。

## 「辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会」翁長市長あいさつ

みなさまご承知のとおり、私は保守系の政治家であり、沖縄の米軍基地は、県民が自ら望んで作られたものではないと断言します。それにも関わらず、県民は基地を左に、右に別れ、経済的、平和的と戦後長い間、白黒闘争を繰り返してまいりました。しかし、本日、手法の違いはあれ、県民の心は、基地の整理縮小という一点でひとつになることができます。

民主党は選挙中、私たち県民に県外移設を公約しました。その鳩山政権が県外移設について言及した時、私は那覇市議会で「鳩山政権が不転換の決意で県外移設をやるのであれば、大いに期待も、応援もしたい」と答弁いたしました。

私は4年前、日本の安全保障は、全国民が考えているべきだと思いつつも、ウチナーのチムグクルから、あえて他都道府県の具体的な候補地を挙げず、ぎりぎり候補地を挙げ、石原東京都知事を提案し、石原東京都知事や小笠原村長にも直接お会いして、理解を求めたことがあります。硫黄島には住民がおらず、自衛隊基地があり、軍事的にも可能だと判断をしたからであります。

私は、鳩山政権の県外移設についての言及は、普天間の危険性の除去という13年間積み重ねてきた過程を十二分に吟味し、当然、米国の交渉の見通しを立てた上で打ち出されたものと考え、大きな期待を寄せました。

しかし、鳩山政権の国会での答弁は、県外についての検証が全くなされておられません。県内だけになっていく。前政権の日本合意の重さについても、政権交代をするまで理解していません。誠心誠意でありません。日本の安全保障に真剣に向き合ってきた県民にとっては、その事は当たり前のことでもあります。

私たち県民は、鳩山政権に、それを乗り越える政治力を期待したのです。しかしながら、現状は、13年前にタイムスリップしたような感覚さえ覚えます。鳩山さんに強く、申し上げたい。普天間基地移設問題について、名護市長選挙の結果を見て判断するなど

という主張は言語道断です。名護市民に何回、踏み絵を踏ませるのか。人間の忍耐の限界をはるかに超える騒音に悩まされている嘉手納基地周辺の人々の気持ちをわかって欲しい。そして、これ以上沖縄の人々を対立させないでいただきたい。もし、県外移設の決断が出来ない場合には、少なくとも沖縄県内では「友愛」という言葉は封印していただきたい。これは私からの激励の言葉であり、県民からの激励と期待の言葉だと思ってください。

今、県民は、心を一つにしてまとまることが大切です。私も保守・革新の枠を飛び超えて、一歩を踏み出しました。それぞれが立場を乗り越えて団結し、力を合わせて頑張ってください。

今、県民は、心を一つにしてまとまることが大切です。私も保守・革新の枠を飛び超えて、一歩を踏み出しました。それぞれが立場を乗り越えて団結し、力を合わせて頑張ってください。

## 「NHKのど自慢」in 那覇市 出場者・観覧者大募集!!

【主催】 NHK沖縄放送局、那覇市  
 【日時】 平成22年1月10日(日) 開場/午前11:00 開演/午前11:45  
 ※予選会 1月9日(土)午後0:45～  
 【会場】 那覇市民会館(那覇市寄宮1-2-1)  
 【ゲスト】 三沢あけみ、夏川りみ  
 【司会】 徳田章アナウンサー  
 【出場】 予選を通過した20組  
 【入場料金】 出場・観覧とも参加無料  
 【放送予定】 平成22年1月10日(日) 午後0:15分～午後1:00(生放送)  
 (総合・衛星第2・ラジオ第1・国際)  
 ※放送日時に変更になることがあります。

【応募方法】 郵便便復はがきでお申込みください。(出場希望)締め切り12月10日(木)必着 (観覧希望)締め切り12月17日(木)必着  
 ※詳細については、下記であらお問合わせください。  
 【問合わせ】 NHK沖縄放送局・事業部  
 ☎098-865-3621 (土日祝日除く 午前10:00～午後6:00)  
 NHK沖縄ホームページ  
<http://www.nhk.or.jp/okinawa/>

ご応募の際にいただいた個人情報は、選出・抽選の結果のご連絡のほか、NHKの受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

毎月1日、20日はノーマイカーデーです。おでかけにはなるべくバス・タクシー・モノレールをご利用ください。

## 航空自衛隊那覇基地 入場自由

# エアー・フェスタ 2009

ブルーインパルス等展示飛行及び各種航空機地上展示  
 ゲスト・エイサー等多数のイベント

日時: 12月13日(日) 午前10時～午後3時(基地開放は9時～)

お問い合わせ: 航空自衛隊那覇基地渉外室 TEL.098-857-1191 [内3291] 那覇基地は、ゆいレール赤嶺駅から徒歩5分(駐車場は、那覇軍港、無料シャトルバス有り)

## プランター緑化を始めよう!

### 緑のそよ風大作戦参加者募集

市民のみならず、緑のある生活を始めてみませんか? 市では、市内建築物の屋上や壁面、ベランダなどの工作物を緑化する放熱などにより都市部の気温があがる現象(建築物)の緩和と潤いのある空間を創出していくため、プランター(苗などを含む)を無料で提供します。プランターの提供を希望される方は、環境保全課までご連絡ください。

【対象】 ①市内の建築物で、屋上・壁面・ベランダにプランターを設置できる方。  
 ②プランターの維持管理講習会を受講し、1年以上維持管理のできる方。  
 ③プランターの設置6か月後に、育成状況を写真などにより報告できる方。

【費用】 無料(申込者多数の場合は抽選となります。)

【募集期間】 11月30日(月)～12月22日(火)

【お問い合わせ】 環境保全課(環境保全グループ) ☎951-3229

